

# 教育原理

単位数	履修方法	配当年次
4	R	1年以上



科目コード **EC2301** 担当教員 **寺下 明**

## ■科目の内容

現代日本の教育は、混迷した厳しい状況にあり、問題は深く複雑です。混迷の要因の一つとして、教育における理念の不明確さや人間理解の矮小化があげられます。今日の教育問題を解決するためにわたしたちは、教育あるいは人間形成とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。何故、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは一体何か、という問いにわたしたちはいま直面しているのです。古くて新しい問いかけです。その問いに対する何らかの解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるはずです。

## ■到達目標

- 1) 教育についての関心を深め、今後の学修のための基礎知識の習得を目標とする。
- 2) 教育の理念や教育に関する歴史および教育理論に関わる内容について習得する。
- 3) 生涯教育の視点からの教育改革の動向や学校教育を取り巻く状況の変化、社会的な要請等についての認識を深める。

## ■教科書

寺下明著『教育原理 第2版』ミネルヴァ書房、2013年  
(最近の教科書変更時期) 2013年4月

## ■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	教育とは何か (第1章)	教育とは何かについて語源や文献をもとに学ぶ。その背景にある人間把握について考えを深める。 キーワード：伝達、就巢性、可塑性、生理的早産、社会化、狼に育てられた子	教育とは何かについて、人間は「教育的存在」であるという視点から考えてみるのが重要。
2	人間の成長・発達 (第2章)	遺伝と環境を踏まえて、人間の成長・発達について学ぶ。 キーワード：タブラ・ラサ説、環境閾値説、三歳児神話	子どもの成長と発達の特徴をとくに文化的環境や教育との関連で考えてみる。
3	脳科学からみた発達 (第2章)	脳科学の最新の知見から、子どもの発達と教育について考察を深める。 キーワード：アタッチメント、社会脳、利己的な遺伝子、文化化	社会脳説を中心に人間は文化的環境によってつくられるのかを検討してみたい。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	子ども観と子育て①西欧の子ども観 (第3章)	西欧の子ども観の変遷をたどる。 キーワード：小さな大人, 精神白紙説, 近代家族, 子どもの誕生	子ども観の変遷をたどりながら, 子どもはいかなる意味の世界に生きてきたのかを通して, 逆に人間存在とは何かを問い直してみたい。
5	②日本の子ども観 (第3章)	日本の子ども観と子育てについて, 西欧と比較しながらその特徴について考察する。 キーワード：子宝思想, 母性原理社会, 甘え, 恥の文化, 7歳までは神のうち	子ども観と子育てのあり方を欧米と比較することによって, そこに浮かび上がる日本社会の基本構造と教育の特質を明らかにしたい。
6	教育の目的 ①古代・中世の教育目的 (第4章)	教育の目的はその実践を方向づけるものとして重要である。そこで, 教育の理想ないし目的が, 時代や社会とともに変化し, 国家や社会の事情によって異なることを概観する。 キーワード：ソフィスト, イデア, ログス, 自由七科	古代の教育目的の根底にどのような子ども観や人間観があるのかを考えてみたい。
7	②ルネッサンス期・近代の教育 (第4章)	ルネッサンスや近代の考え方は, 教育にも影響を与え, 教養を中心とした心身の調和的発展をめざす人間形成が理想とされた。時代の流れとその背景を把握する。 キーワード：人文主義教育, 公教育, 新教育	近代においてさまざまな教育改革が行われたが, その背景にあるルソーやペスタロッチ, コンドルセ, デューイの教育理論についても理解しておきたい。
8	③日本の近代教育 (第4章)	日本の近代における教育の目的を理解する。 キーワード：学制, 教育勅語, 大正自由教育	「富国強兵」を国家の目標に掲げた近代日本の義務教育の制度はどのような教育観であったのか考察を加えたい。
9	④日本の戦後教育 (第4章)	戦後教育の教育理念について理解する。 キーワード：アメリカ教育使節団, 教育基本法	教育の目的は何か, 何のための教育かを問うことは, 教育によって実現される価値や意義を追求し, 教育の本質を明らかにすることにもなる。
10	日本の近代化と教育 ①江戸時代の教育遺産 (第5章)	日本が近代化に成功した要因として, 近代以前における教育の普及と充実を理解しておきたい。 キーワード：寺子屋, 藩校, 私塾	江戸時代にはさまざまな教育の場があり, 豊かな教育活動が行われていた。その中でも, 庶民の教育機関であった寺子屋について, その現代的意義を学んでおきたい。
11	②儒教の伝統 (第5章)	儒教は学問や教育を重視することから, 国民的規模での教育水準の高さが生み出される。それが近代化の原動力になったのかを検証する。 キーワード：儒教文化圏, 社会倫理	江戸時代の支配的イデオロギーであった儒教は, さまざまな批判があるにもかかわらず, 日本の近代化に貢献したことを考察する。
12	③立身出世と学校 (第5章)	学問や教育が立身出世につながるということが, 以後の日本の社会の基本信念となり, 学校信仰を生み出していくことを学ぶ。 キーワード：札幌農学校, 科举, 学歴社会, 近代公教育	日本における学校の優越性は, お上の学校の性格としてだけでなく, 民衆の側から見て, 実利的効用という点で, 学校はその価値を認められるようになったことを理解する。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
13	現代教育に問われているもの ①戦後教育(第6章)	戦後教育の流れとその背景を学ぶ。 キーワード：スプートニク・ショック, 落ちこぼれ, 不登校, いじめ, 学級崩壊	学習指導要領改訂の変遷をたどりながら, 現代社会の縮図としての学校教育の問題点を検討する。
14	②生涯学習と教育改革(第6章)	これからの教育をどのように構想していけばよいかを探求する。 キーワード：学習社会, 自己実現, ラーニング・ツー・ビー	生涯学習はこれまでの教育に大きなパラダイムの転換をもたらした。学校教育の改革を生涯学習体系のなかに位置づけて展望したい。
15	③学校教育の課題(第6章)	学校教育の抱える課題について考える。 キーワード：ハイパー・メリトクラシー, 隠れたカリキュラム	学校教育の課題については, 教育は理想社会をめざして, 現実を自ら作り変えられるような人間を育成するところに求められているという視点から考えてみたい。

## ■レポート課題

1 単位め	カントの「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」という言葉の意味について述べなさい。
2 単位め	日本における子ども観について述べなさい。
3 単位め	日本の近代化において, 教育の果たした役割について述べなさい。
4 単位め	学校とは何か。家庭, 地域社会との関係で論じなさい。

## ■アドバイス

各課題についてテキストおよび関連文献を参考にして, ただ「丸写し」するのではなく, 自分の言葉で, 理解された内容をまとめるように心がけてください。テキストの内容を十分に踏まえたうえで, 他の文献や自分の意見などを加えるのは自由です。

### 1 単位め アドバイス

教育とは何か。これを考えてもらうのがここでの学習の出発点となります。教育を説明することは難しい。その難しさは, 実は教育という行為が直接人間に関わるからです。教育の問題は, 根底において, 多義的で不可解な人間そのものに対する問いに深く関わっています。教育は, 人間についての把握がなければ不可能です。教育とは何かの問いは, われわれにとって永遠の課題の一つです。ここでは, 人間は教育を必要とし, 教育の可能な動物, すなわち, 教育的存在としての人間という観点から, 教育の意味について考えてみましょう。

### 2 単位め アドバイス

子ども観を, 子どもに対する明確に意識され概念化されたイメージと考えるならば, それは西欧近代の産物です。もちろん, 日本にも子どもを大人と違った存在として慈しみ育てる慣習と, 断片的なイメージはありました。しかし, 子どもをどう見るかということに明確な

視点を与えてくれたのはルソーの『エミール』です。したがって、子ども観の考察は、まず西欧の子ども観の探究からはじめ、それがいかなる背景のもとで成立したのか、また、実際の教育にどのような影響を及ぼしたのかについて考えることが大切です。そして、西欧の子ども観と日本の子ども観を比較しながら、日本における子どもをめぐる問題の特殊性を明らかにしたい。子どもは、いかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に全体として人間存在を問い直してみることがねらいです。

### 3単位め アドバイス

日本が「近代化」に成功したのは、単に後発の利点を生かし、他国のまねをして、キャッチ・アップしたわけではありません。いくつかの要因が整っていたことの結果であると考えられます。ここでは、その重要な要因として、近世からの教育の普及と充実を取り上げてみたいと思います。特に、教育の質を上げることが重要です。しかし、日本が近代化を実現していく過程で、近代化が遅れていたがゆえに、教育によって先進文明を効率よく伝達しようとしてきました。伝統からの脱皮を急ぎつつ、先進文明を大量に伝達しようとしてきました。そこから教育行政の中央集権化がはじまり、その結果として学校文化の「画一化」が生じてきました。それは、いわば近代化の遅れがもたらしたものです。その点を十分踏まえながら、日本の近代化に果たした教育の役割についてレポートを作成してください。

### 4単位め アドバイス

近代における公教育制度は、国家の文明化と豊かな産業社会の実現をめざすシステムでありました。今日、日本の識字率、就学率、高学歴は世界の最高水準に達し、公教育以外にもさまざまな教育の機会が充実し、もっとも学校化された社会の一つを実現しています。しかし、80年代その量的制度的拡充がピークに達した頃から、校内暴力、不登校、いじめ問題等が深刻さを増し、その「制度疲労」が目立つようになってきました。近代の、学校を中心とした教育システムが自明としてきた原理そのものが崩壊してきたのです。こうした現代日本における実態についてテキストにこだわることなく、自分で実態を考察し、そこから考えたことを十分取り入れて課題にアプローチしてください。

## ■科目修了試験 評価基準

---

①問題の意図を正しく理解し、問題にそって論理的に解答がなされている、②自分なりの視点をもって問題に取り組んでいる、③専門用語の意味などについて正確に理解している、などを基準に評価する。

## ■参考図書

---

大田堯著『教育とは何か』岩波新書、1990年

恒吉僚子著『人間形成の日米比較』中公新書、1996年

河上亮一著『教育改革国民会議で何が論じられたか』草思社、2000年